

「座右の銘・座右の書が有りましたら、お教えてください。」

平成 29 年 10 月 24 日

●古都の瞳さんからの質問

座右の銘・座右の書が有りましたら、お教えてください。揮毫されるとしたらなんと書かれるかでも構いません。私、苦しい時に頭に浮かべるのは「人生苦あり、もって楽しむべし。」なんです。(苦笑)

●西田昌司の答え

私の座右の銘は、幕末の儒学者の佐藤一斎の書いた『言志四録』の中にある言葉です。

一燈を掲げて暗夜を行く。暗夜を憂うこと勿れ、只一燈を頼め。

私は過去に、非常に困難な状況に陥って目の前が真っ暗で一步も踏み出せないという、絶望の淵に突き落とされたことがありました。その時に、この佐藤一斎の言葉に触れることで心が奮い立ち、そこから抜け出すことができました。

先々週、京都の新人候補の二人にもこの言葉を書いたものを手渡して勇気づけましたが、皆さんも困難に直面した時、己の中にある一燈を照らして前に進んでください。そうすれば必ず道が開けるものです。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>